

うるおい木曾



Vol. 54

2014・1月

水がささえる豊かな社会



独立行政法人水資源機構

発行：木曾川用水総合管理所
〒495-0036

愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1

TEL 0587-97-3710(代表)

FAX 0587-97-1482

ホームページアドレス

<http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa>

東海三県を水で結ぶー木曾川用水

新年のご挨拶



新年、明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、まず第一に2年連続となる節水対策の実施を掲げなければいけません。6月13日から6月29日の16日間で節水は解除することが出来ました。その後は降雨に恵まれ、木曾川の流況も豊かになったことから水源である岩屋ダムは満水状態を確保することができました。いずれにしても2年連続の節水であり、今年についても特に春先の降雨状況に注意を払っていく必要があると考えています。

また、右岸地区では緊急改築事業を進捗させている一方で漏水事故が4回発生し、大変なご苦労をおかけしております。6月には、濃二地区の鍋田川支線においても漏水が発生し、復旧にあたって機構内備蓄資材（筑後川管内）を手配し、最短で通水を回復することができました。

漏水などトラブルは発生しないに越したことはありませんが、発生時にいかに被害を最小に押さえることができるか、その体制整備が重要だと考えております。

事務所の活動としては、風水害対策を中心とした170日に及ぶ防災体制を実施するとともに、防災力向上に向けた月1回の防災訓練の実施、施設の老朽化等を踏まえた土木・電気・機械設備の点検・整備に努め、障害等トラブル発生には適時対応してまいりました。

私どもは、引き続き、法令を遵守し、業務改善とコスト縮減に取り組みながら用水を安定供給してまいります。関係各位の皆様方には何かとご支援ご協力をお願いすることとなりますがどうぞよろしくお願い申し上げます。

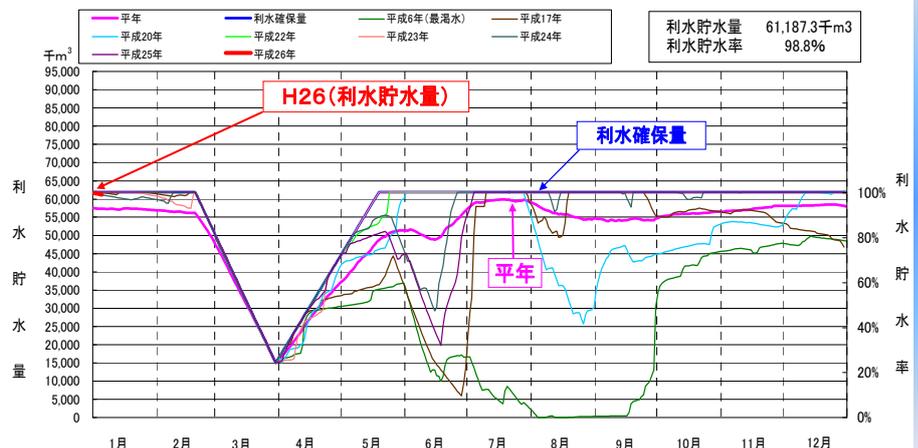
今年が皆様方にとって良い年であることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

岩屋ダム水源状況

平成26年1月8日 0時現在



木曾川用水総合管理所
所長 坂野 一平





木曾川右岸施設緊急改築事業の現況



坂祝支線深菅工区改築工事
(坂祝町)
ダクタイル鋳鉄管布設状況【素掘施工】



坂祝用水路矢田工区改築工事
(美濃加茂市)
巻込鋼管布設状況【立坑投入】

美濃加茂管理所では、既存の劣化したPC管を鋼管やダクタイル鋳鉄管に更新する工事を実施しています。

※PC管（プレストレストコンクリート管）：PC鋼線を巻き付けることによって補強されたコンクリート管
※ダクタイル鋳鉄管：高強度の鋳鉄により製造された管

水路施設の徒歩巡視(弥富管理所)

木曾川用水総合管理所弥富管理所では、日々水路巡視を実施していますが、重要施設以外は車両からの目視点検となっています。

そのため、毎年春と秋の年2回、徒歩による水路巡視を実施しており、今年も10月21日～25日にかけて、秋の徒歩巡視を実施しました。

交通量の多い公道に隣接したところでは、空き缶やペットボトルなどの投棄物が多く、ゴミ袋6袋分もの投棄ゴミを回収しました。



投棄物処理作業



設置看板確認作業



木曾川大堰からサツキマスの稚魚を放流

昨年12月5日(木)、10年目となる「サツキマス稚魚放流体験学習会」を実施し、地元長岡小学校全校児童(145名)及び先生の手により、15cm程度の稚魚約1,800匹を放流しました。

この催しは、例年、木曾川漁業協同組合、愛知県農林水産部水産課、尾張農林水産事務所と連携して実施しているもので、「木曾川の自然環境への理解と親しみを深めてもらう」ことを目的に実施しています。

愛知県の説明によると、来年のサツキが咲く5月頃に約50cmに成長したサツキマスが伊勢湾から木曾川を遡上してくるとのことでした。

当日は風もなく絶好の天候に恵まれ、児童たちはバケツの生きのいいサツキマスに驚きながら、木曾川大堰魚道から優しく稚魚を放流していました。



長岡小学校の児童による管理所体験学習

12月18日(水)木曾川用水総合管理所で、長岡小学校4年生の児童18名に管理所で日頃行っている業務のうち、下記業務をピックアップし体験してもらいました。

- ①木曾川用水の事業概要説明
- ②所長になっての書類決裁
- ③ゲート操作卓の使い方
- ④パトライトの付いた警報車の操作
- ⑤無線の操作

②～⑤の業務を職員の手ほどきを受けながら、数名毎の班別に順次業務体験をしてもらい最後に修了書を授与し、半日の体験学習を終了しました。

当日は、庁舎内に元気な児童たちの声が反響し、緊張した中にも初めての体験を楽しんでいるようでした。

今回の体験を通して、機構の管理業務について少しでも理解していただければと思います。





利水ユーザーの皆さんと合同防災訓練を実施

木曾川用水総合管理所では、防災力向上を目的に独自の取り組みとして、毎月16日を防災訓練の日と位置づけ実施しています。12月は、三重県企業庁播磨浄水場並びに岐阜県山之上浄水場の水質担当職員の皆さんをお招きし、油流出事故の対策処理に関する合同訓練を実施しました。

訓練は、オイルフェンス・オイルマット等油流出処理材関連メーカーに協力をいただき、はじめに川の流れに対するオイルフェンスの張り方や油流出事故で使用したオイルマットの処理方法等の講習を受けた後、油流出事故を想定して管理所内の水路にオイルフェンスを張る訓練を実施しました。

今回、油に対しては中和できる薬剤がなく、油事故が発生した場合は、オイルマットでの吸着処理がもっとも有効であることを再認識しました。



油についての説明



オイルフェンス・オイルマットの説明

一時避難所(木曾川用水総合管理所)調印式

水資源機構木曾川用水総合管理所が、近隣住民の方の一時避難場所となりました。

これは、所長の提案を稲沢市が受け入れて実現したもので、11月26日(火)稲沢市役所公室において「稲沢市・独立行政法人水資源機構木曾川用水総合管理所 災害時における一時避難場所の確保に関する協定」の調印式が行われ、大野稲沢市長と坂野所長が調印し協定が結ばれました。

総合管理所がある付近は当管理所以外高い建物がなく、これにより、万が一災害が起きた場合近隣住民の方の避難場所としてお役に立て地域に貢献ができるものと思います。



お知らせ

明けましておめでとうございます。本年も本誌が皆さま方にご愛読いただけますよう努力して参りますとともに、読者の皆さまにとりまして良き年となりますように祈念しています。

本年も引き続き皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せ下さい。また、施設見学をしてみませんか。事業の説明にも伺います。希望される方はお気軽に連絡して下さい。

編集部・発行



うるおい木曾

木曾川用水総合管理所

〒495-0036

愛知県稲沢市祖父江町馬飼寺東26-1

TEL(0587)97-3710 FAX(0587)97-1482

最新情報はこちらへ

ホームページ <http://www.water.go.jp/chubu/kisogawa>

又は【うるおい木曾】で検索してください。

出先管理所

美濃加茂管理所

〒505-0021 岐阜県美濃加茂市森山町4-9-20

TEL(0574)25-2121 FAX(0574)28-3354

弥富管理所

〒498-0014 愛知県弥富市五明3-15

TEL(0567)65-1650 FAX(0567)65-0445

長良導水管理所

〒511-1143 三重県桑名市長島町西外面1026

TEL(0594)42-5671 FAX(0594)42-5674